



Bendamustine

ベンダムスチンの治療を受けられる 患者さんとお家族の方へ

あなたがベンダムスチンの治療を受けられるのは、
下記の治療のためです。

- ☐ 低悪性度B細胞性非ホジキンリンパ腫
- ☐ マントル細胞リンパ腫
- ☐ 再発又は難治性のびまん性大細胞型B細胞リンパ腫
 - ▶ 4ページよりお読みください。
- ☐ 腫瘍特異的T細胞輸注療法の前処置
 - ▶ 16ページよりお読みください。

Contents

悪性リンパ腫について	4
悪性リンパ腫の種類	5
悪性リンパ腫の治療	6
ベンダムスチンについて	8
ベンダムスチンの治療を受ける前のチェック事項	9
ベンダムスチンによる治療スケジュール	10
ベンダムスチンの副作用	17
併用される薬の主な副作用（リツキシマブ）	21
併用される薬の主な副作用（ポラツズマブベドチン）	22
高額療養費制度について	23
治療日誌	28

悪性リンパ腫について

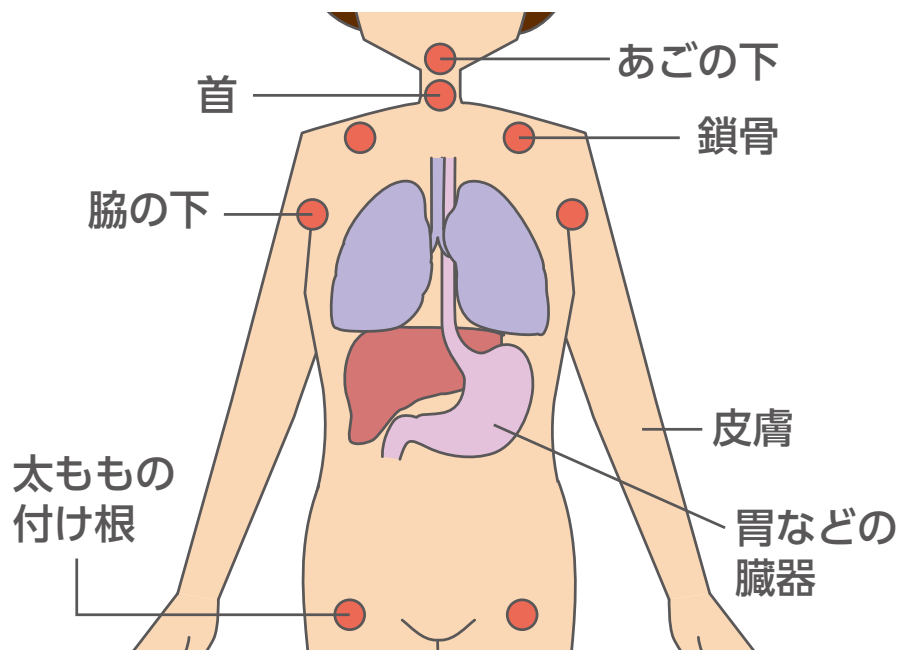
身体には、細菌やウイルスから体を守る“免疫”を担う「リンパ球」という細胞があり、血液やリンパ液と一緒に全身を流れています。

悪性リンパ腫は、このリンパ球ががん化する病気です。

悪性リンパ腫になると、首やわきの下、足の付け根などにあるリンパ液を貯めるリンパ節や胃などの臓器、皮膚などで、がん化したリンパ球が異常に増殖して、腫れやしこりを作ります。

また、発熱、体重減少、ひどい寝汗などの症状がみられることもあります。

悪性リンパ腫の発症部位



悪性リンパ腫の種類

悪性リンパ腫は、がん化したリンパ球の特徴によって、「ホジキンリンパ腫」と「非ホジキンリンパ腫」に分類されます。

さらに非ホジキンリンパ腫は、がん化したリンパ球の種類（B細胞とT細胞・NK細胞があります）や特徴によって、下記のように細かく分類されます。

このうち、ベンダムスチンの治療対象となるのは、赤字の悪性リンパ腫となります。

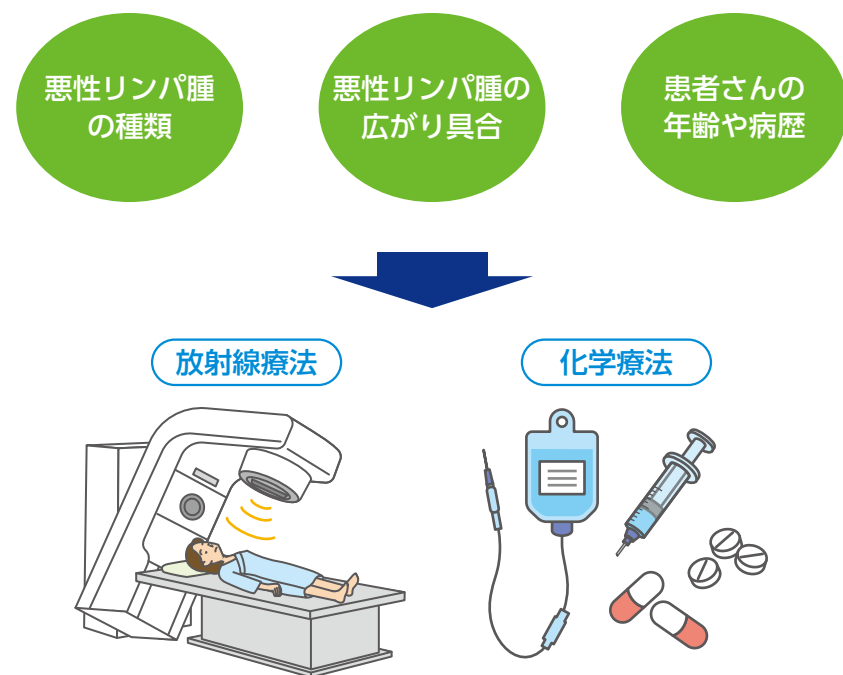
代表的な非ホジキンリンパ腫の分類

	B細胞リンパ腫	T/NK細胞リンパ腫
低悪性度 (年単位で ゆっくり進行)	●濾胞性リンパ腫 ●MALTリンパ腫 ●脾辺縁帯リンパ腫 ●マントル細胞リンパ腫 このカテゴリーの悪性リンパ腫を「低悪性度B細胞性非ホジキンリンパ腫」といいます	●菌状息肉症 ●成人T細胞白血病・リンパ腫（くすぶり型・慢性型）
中悪性度 (月単位で進行)	●びまん性大細胞型B細胞リンパ腫	●末梢性T細胞リンパ腫 ●血管免疫芽球形T細胞リンパ腫 ●未分化大細胞型リンパ腫 ●節外性T/NK細胞リンパ腫 ●成人T細胞白血病・リンパ腫（急性型・リンパ腫型）
高悪性度 (週単位で 早く進行)	●リンパ芽球性リンパ腫 ●バーキットリンパ腫	●リンパ芽球性リンパ腫 ●急速進行性NK細胞白血病

初回治療(初めての治療)

初回治療では、主に抗がん剤や抗体薬などの分子標的薬と呼ばれるお薬を使用する「化学療法」が行われます。病状によっては「放射線療法」がまず行われることもあります。悪性リンパ腫の種類によっては、他の治療法もあります。

悪性リンパ腫の種類や悪性リンパ腫の広がり具合、患者さんの年齢や病歴などを総合的に考慮して治療が決定されます。

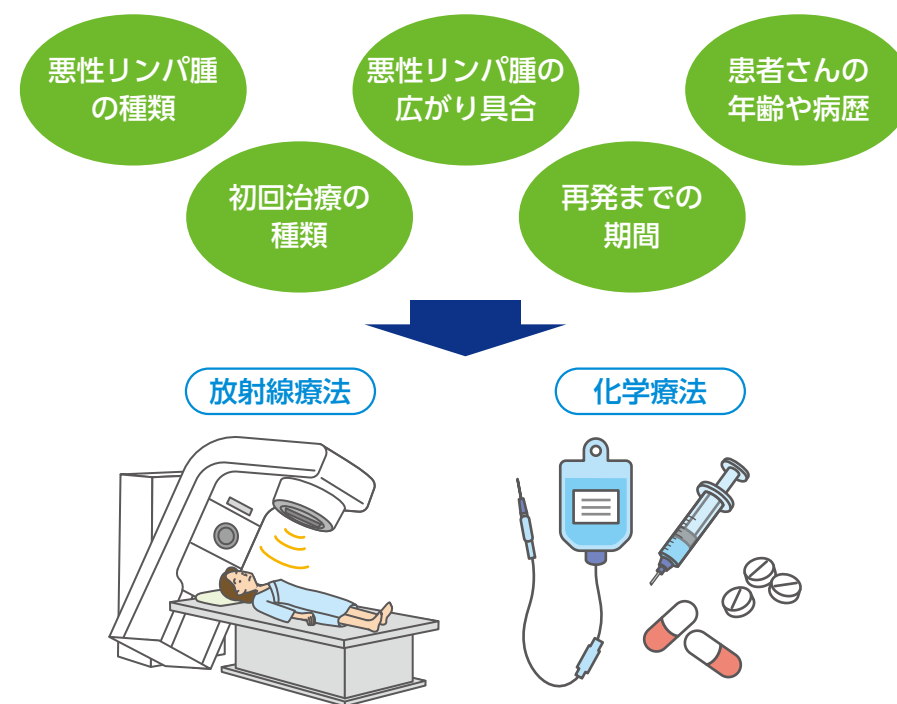


- 両方の治療を行うこともあります。
- 胃にできる悪性リンパ腫では、ピロリ菌除菌を行うことがあります。
- 造血幹細胞移植という治療を行うことがあります。

初回治療が十分に効かなかった場合や 治療後に再発した場合の治療

悪性リンパ腫の種類、初回治療の種類、再発までの期間、患者さんの年齢や病歴などを総合的に考慮して治療が決定されます。

また、再発した場合、悪性リンパ腫の種類が変わっていることがありますので、新たに検査して悪性リンパ腫の種類を確認します。

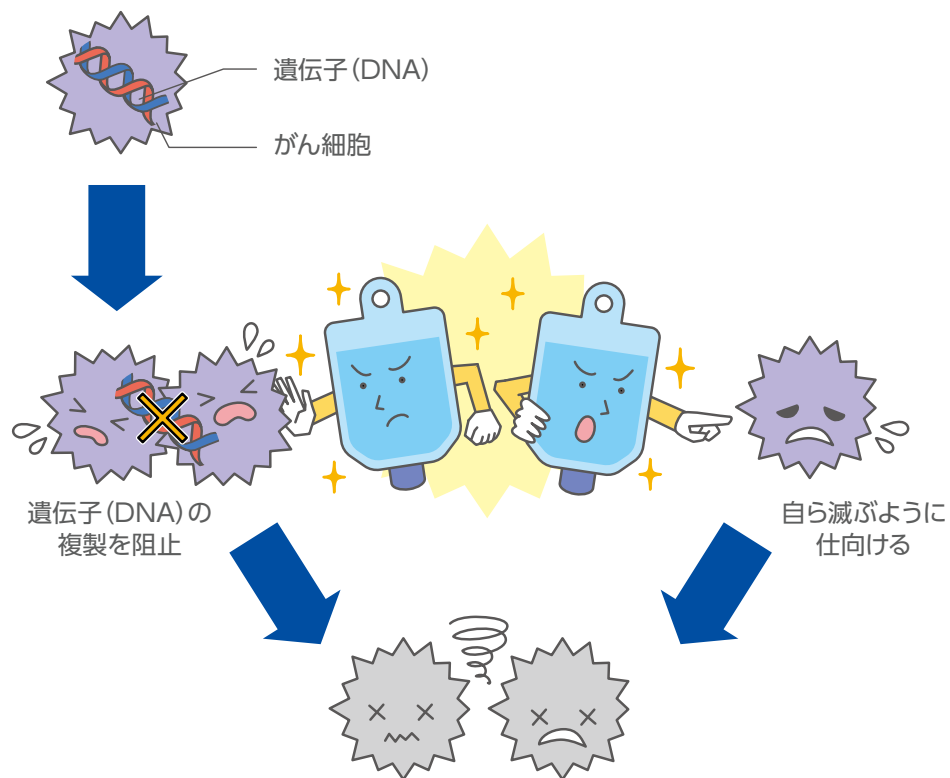


- 両方の治療を行うこともあります。
- 造血幹細胞移植という治療を行うことがあります。

ベンダムスチンについて

ベンダムスチンは、点滴で投与する抗がん剤です。

がん化したリンパ球が増殖する際に行う遺伝子 (DNA) の複製 (同じDNAをもう1つ作りだす) を阻止したり、がん化したリンパ球が自ら滅ぶように仕向けたりすることで、悪性リンパ腫の増殖を抑えたり、死滅させたりする働きがあります。



ベンダムスチンの治療を受ける前のチェック事項

ベンダムスチンの治療を受ける前に、下記の項目を確認してください。

該当する項目がある場合は、治療を受ける前に必ず医療スタッフに伝えてください。

	体調・条件	チェック
1	ベンダムスチンの治療を受けてアレルギー症状が出たことがある	
2	妊娠している、妊娠している可能性がある	
3	授乳中である	
4	血液検査で、赤血球、白血球、血小板のいずれかの数値が低いと指摘されている	
5	発熱や風邪の症状がある	
6	心筋梗塞や不整脈など心臓の病気がある、または過去にあった	
7	肝臓に異常がある	
8	腎臓に異常がある	

下記についても該当する場合は、医療スタッフに伝えてください。

- ほかにお薬 (ドラッグストアや薬局で購入したお薬を含む) を服用している
- サプリメントや健康食品を服用している
- これまでに、薬を服用してアレルギーが出たことがある

ベンダムスチンによる治療スケジュール

低悪性度B細胞性非ホジキンリンパ腫の場合

リツキシマブと併用する治療スケジュール例

	1サイクル目(4週間)							2サイクル目(4週間)				
	0	1	2	3	4	...	28	1	2	3	4	...
ベンダムスチン												
リツキシマブ												

- 初めてのベンダムスチン投与日を1日目として、1、2日目に投与した後、26日間(3～28日目)投与をお休みします。この28日間(4週間)を1サイクルとして、治療を繰り返します。
- リツキシマブは、1サイクル目は0日目(ベンダムスチン初めての投与日の前日)、2サイクル目以降は1日目に投与します。
- 何サイクル治療を繰り返すかは、主治医にお尋ねください。

ベンダムスチンのみの治療スケジュール例(再発または初回治療で十分な効果が得られなかった場合のみ)

	1サイクル目(3週間)						2サイクル目(3週間)				
	1	2	3	4	...	21	1	2	3	4	...
ベンダムスチン											

- 初めてのベンダムスチン投与日を1日目として、1、2日目に投与した後、19日間(3～21日目)投与をお休みします。この21日間(3週間)を1サイクルとして、治療を繰り返します。
- 何サイクル治療を繰り返すかは、主治医にお尋ねください。

治療の種類や患者さんの状態、副作用の発現状況によって、上記とは異なる治療スケジュールになることがあります。

ベンダムスチンによる治療スケジュール

マントル細胞リンパ腫の場合

初回治療の治療スケジュール例

	1サイクル目(4週間)							2サイクル目(4週間)				
	0	1	2	3	4	...	28	1	2	3	4	...
ベンダムスチン												
リツキシマブ												

- 初めてのベンダムスチン投与日を1日目として、1、2日目に投与した後、26日間(3～28日目)投与をお休みします。この28日間(4週間)を1サイクルとして、治療を繰り返します。
- リツキシマブは、1サイクル目は0日目(ベンダムスチン初めての投与日の前日)、2サイクル目以降は1日目に投与します。
- 何サイクル治療を繰り返すかは、主治医にお尋ねください。

再発または初回治療で十分な効果が得られなかった場合の治療スケジュール例

	1サイクル目(3週間)						2サイクル目(3週間)				
	1	2	3	4	...	21	1	2	3	4	...
ベンダムスチン											

- 初めてのベンダムスチン投与日を1日目として、1、2日目に投与した後、19日間(3～21日目)投与をお休みします。この21日間(3週間)を1サイクルとして、治療を繰り返します。
- 何サイクル治療を繰り返すかは、主治医にお尋ねください。

治療の種類や患者さんの状態、副作用の発現状況によって、上記とは異なる治療スケジュールになることがあります。

ベンダムスチンによる治療スケジュール

再発又は難治性のびまん性大細胞型B細胞リンパ腫の場合

リツキシマブと併用する治療スケジュール例

	1サイクル目 (3週間)							2サイクル目 (3週間)				
	0	1	2	3	4	...	21	1	2	3	4	...
ベンダムスチン												
リツキシマブ												

- 初めてのベンダムスチン投与日を1日目として、1、2日目に投与した後、19日間 (3～21日目) 投与をお休みします。この21日間 (3週間) を1サイクルとして、治療を繰り返します。
- リツキシマブは、1サイクル目は0日目 (ベンダムスチン初めての投与日の前日)、2サイクル目以降は1日目に投与します。
- 何サイクル治療を繰り返すかは、主治医にお尋ねください。

リツキシマブ、ポラツズマブベドチンと併用する治療スケジュール例

	1サイクル目 (3週間)							2サイクル目 (3週間)				
	0	1	2	3	4	...	21	1	2	3	4	...
ベンダムスチン												
リツキシマブ												
ポラツズマブベドチン												

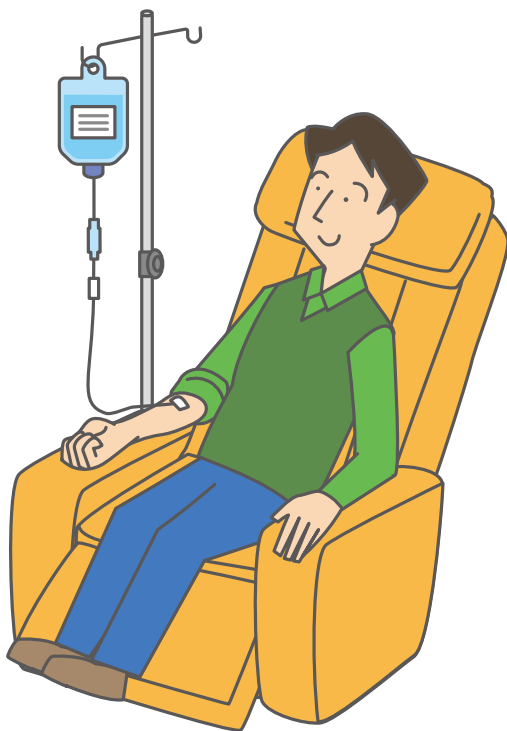
- 初めてのベンダムスチン投与日を1日目として、1、2日目に投与した後、19日間 (3～21日目) 投与をお休みします。この21日 (3週間) を1サイクルとして、治療を繰り返します。
- リツキシマブは1サイクル目は0日目 (ベンダムスチン初めての投与日の前日)、2サイクル目以降は1日目に投与します。
- ポラツズマブベドチンは1日目 (ベンダムスチン初めて投与日と同日) に投与します。2サイクル目以降も1日目に投与します。
- 何サイクル治療を繰り返すかは、主治医にお尋ねください。

治療の種類や患者さんの状態、副作用の発現状況によって、上記とは異なる治療スケジュールになることがあります。

ベンダムスチンによる治療スケジュール

腫瘍特異的T細胞輸注療法 (CAR-T細胞療法) の前処置

- 注入する腫瘍特異的T細胞が十分に働くように、注入前に体内のリンパ球を減らす目的でベンダムスチンを投与します。(リンパ球が体内にたくさんあると、腫瘍特異的T細胞の働きを妨げてしまいます。)
- 治療スケジュールは、主治医にお尋ねください。



ベンダムスチンの副作用

抗がん剤は、がん細胞だけでなく、正常な細胞にも影響してしまうため、何らかの副作用があらわれることがあります。

副作用は、早期に発見して、適切に対応することで重症化を防ぐことができます。ここからは、ベンダムスチンの主な副作用の症状や対策を記載していますので、参考にしてください。また、症状がみられましたら、症状の程度にかかわらず、医療スタッフに伝えるようにしてください。

主な副作用と発現時期

ベンダムスチンの主な副作用と発現しやすい時期は下記ようになります。なお、患者さんによってあらわれる副作用の種類や発現時期には個人差があります。

投与直後～1週間程度	● アレルギー類似症状 ● 注射部位の痛み・血管の炎症 ● 吐き気・嘔吐 ● 食欲不振
数週間後	● 感染症(白血球の減少) ● 出血しやすい(血小板の減少)
数週間後～数カ月後	● 貧血(赤血球の減少)

ベンダムスチンの副作用

感染症（白血球の減少）

起こりやすい時期

点滴後数日～数週間で、起こることがあります。

症 状

- 発熱
- 寒気
- 咳
- のどの腫れ・痛み



◆手洗い・うがい・マスクなどの風邪対策をしましょう。

❗ 次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

- 38℃を超える発熱がある

貧血（赤血球減少）

起こりやすい時期

点滴数週間～数ヵ月後に、起こることがあります。

症 状

- 白目、唇が青くなる
- めまい
- 動悸
- 息切れ



◆睡眠や休息を十分にとりましょう。

❗ 次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

- 動悸、息切れ、頭痛、めまい、耳鳴りなどの症状がある

出血しやすい（血小板減少）

起こりやすい時期

点滴数週間後に、起こることがあります。

症 状

- 内出血
- 出血が止まりにくい
- 鼻血が出る



◆打撲やケガ、切り傷をつくらないように気をつけましょう。また、粘膜から出血しやすいので、歯磨きや鼻をかむときは優しく行いましょう。

❗ 次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

- 血便
- 身に覚えのないあざ
- 口の中に血豆
- 出血が止まらない

吐き気/嘔吐/食欲不振

起こりやすい時期

点滴当日から数日間、起こることがあります。

症 状

- 吐き気がする
- 嘔吐する
- 食欲がない



◆食べられる時に少量ずつ食べましょう。
◆消化の悪いものは避けましょう。

❗ 次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

- 食事や水分をほとんど摂ることができない

ベンダムスチンの副作用

アレルギー類似症状

起こりやすい時期

点滴当日から数日間に、起こることがあります。

症 状

- 全身のかゆみ・じんましん
- のどのかゆみ・違和感
- ふらつき・脱力感
- 動悸
- 息苦しさ



❗ 次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

- 症状がみられたり、いつもと違う感じがした場合

注射部位の痛み・血管の炎症

起こりやすい時期

点滴当日に起こることがあります。

症 状

- 点滴部位または周辺の痛み・炎症



◆ ホットパックや蒸しタオルで腕を温めると痛みが和らぐことがあります。

❗ 次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

- 痛みが強い場合や炎症が改善しない場合

併用される薬の主な副作用(リツキシマブ)

薬の注入による反応(インフュージョンリアクション)

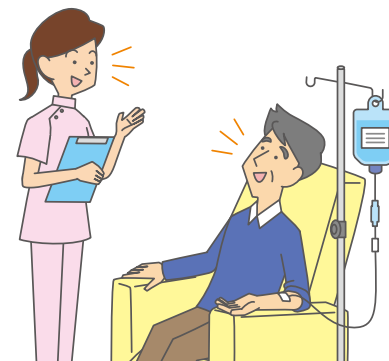
起こりやすい時期

点滴中から点滴当日に起こることがあります。

1回目の投与で起こりやすく、投与を繰り返すにつれて起こりにくくなっていきます。

症 状

- 発熱
- さむけ
- 気持ちがわるい
- 頭痛
- 息苦しい・せきが出る など



◆ 症状がみられたり、何か少しでもおかしいと感じたら我慢せず、すぐに医療スタッフを呼んでください。

◆ 投与後24時間以内は起こる可能性があるので注意しておきましょう。

❗ 次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

- 症状がみられたり、何か少しでもおかしいと感じがした場合

手足のしびれ・痛み（末梢性ニューロパチー）

起こりやすい時期

点滴数週間～数ヵ月後に、
起こることがあります。

症 状

手足について

- ピリピリとしびれる
- ジンジンした痛み
- 感覚が鈍い
- 力が入りにくい
- 普段と異なる感覚
- 熱感や刺激を強く感じる など



- ◆初期は軽い症状でも、徐々に悪化していきますので、少しでも症状がみられたり、いつもと違う感じがあれば医療スタッフに伝えましょう。
- ◆感覚が鈍くなっているのでケガなどに気をつけましょう。

❗ 次のような症状があらわれたら医療スタッフに相談してください

- 症状がみられたり、いつもと違う感じがした場合

治療では、薬剤料、診察料、検査料など、さまざまな費用がかかります。これらの経済的な負担を軽減するために、公的な制度による助成や支援の制度が整えられています。

それらの制度の1つに「高額療養費制度」というものがあります。この制度では、保険適用で支払った医療費が一定の金額を超えて高額となった場合に、その超えた金額が、あとで払い戻される制度です。

次のページからは、この高額療養費制度について詳しく紹介しています。



高額療養費制度について

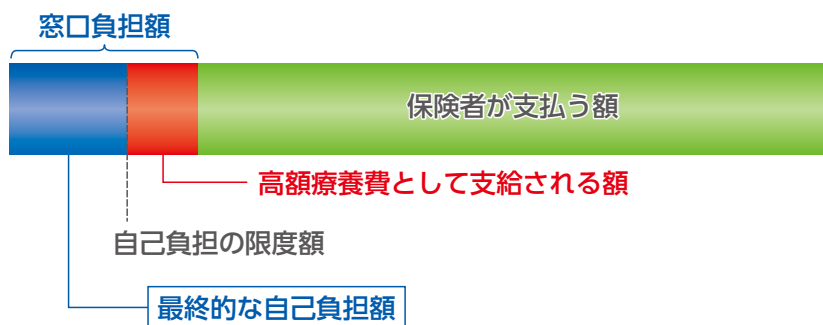
高額療養費制度は、医療機関や薬局の窓口で支払った費用が、同一月（1日～末日）に一定額を超えた場合に、その超えた金額が支給される制度です。

高額療養費制度のイメージ

通常の医療費負担（自己負担の限度額以下の場合）



自己負担の限度額を超えた場合



高額療養費制度が適用される患者さんは、窓口負担額が安くなりますが、申請による還付額が変わることがありますので加入されている健康保険の相談窓口にお問合せください。

自己負担限度額

同一月（1日～末日）の自己負担の限度額は、年齢と所得によって、下記のように区分されています。70歳以上では、外来だけの限度額が設けられています。

<70歳以上の方の上限額>

適用区分		外来（個人ごと）	ひと月の上限額（世帯ごと）
現役並み	年収約1,160万円～ 標報83万円以上／課税所得690万円以上	252,600円＋（医療費－842,000）×1％	
	年収約770万円～約1,160万円 標報53万円以上／課税所得380万円以上	167,400円＋（医療費－558,000）×1％	
	年収約370万円～約770万円 標報28万円以上／課税所得145万円以上	80,100円＋（医療費－267,000）×1％	
一般	年収156万～約370万円 標報26万円以下 課税所得145万円未満等	18,000円 [年14万4千円]	57,600円
非住 民税 等	Ⅱ 住民税非課税世帯	8,000円	24,600円
	Ⅰ 住民税非課税世帯（年金収入80万円以下など）		15,000円

<69歳以下の方の上限額>

適用区分		ひと月の上限額（世帯ごと）
ア	年収約1,160万円～ 健保：標報83万円以上 国保：旧ただし書き所得901万円超	252,600円＋（医療費－842,000）×1％
イ	年収約770～約1,160万円 健保：標報53万～79万円 国保：旧ただし書き所得600万～901万円	167,400円＋（医療費－558,000）×1％
ウ	年収約370～約770万円 健保：標報28万～50万円 国保：旧ただし書き所得210万～600万円	80,100円＋（医療費－267,000）×1％
エ	～年収約370万円 健保：標報26万円以下 国保：旧ただし書き所得210万円以下	57,600円
オ	住民税非課税者	35,400円

健保：健康保険組合など 国保：国民健康保険

高額療養費制度について

さらに負担が軽減される制度

世帯合算

複数の医療機関や薬局での支払い、同じ世帯で同じ医療保険に加入している他の方の支払いを合算して、自己負担の限度額を超えた場合に、超えた額が高額療養費として支給されます。

ただし、69歳以下の方の受診については、同一月に2万1千円以上の自己負担がある場合のみ合算されます。

多数回該当

同一世帯で1年間（直近12ヵ月）に3回以上の高額療養費の支給を受けている場合は、4回目からは自己負担限度額が軽減されます。

<70歳以上の方の場合>

所得区分	本来の負担の上限額	多数回該当の場合
年収約1,160万円～の方	252,600円+ (医療費-842,000円)×1%	140,100円
年収約770万～約1,160万円の方	167,400円+ (医療費-558,000円)×1%	93,000円
年収約370万～約770万円の方	80,100円+ (医療費-267,000円)×1%	44,400円
～年収約370万円	57,600円	44,400円

(注)「住民税非課税」の区分の方については、多数回該当の適用はありません。

<69歳以下の方の場合>

所得区分	本来の負担の上限額	多数回該当の場合
年収約1,160万円～の方	252,600円+ (医療費-842,000円)×1%	140,100円
年収約770万～約1,160万円の方	167,400円+ (医療費-558,000円)×1%	93,000円
年収約370万～約770万円の方	80,100円+ (医療費-267,000円)×1%	44,400円
～年収約370万円	57,600円	44,400円
住民税非課税の方	35,400円	24,600円

利用方法

治療前に手続きをする（窓口負担が自己負担限度額までになる）

治療前に、ご加入の医療保険から所得区分の「認定証」の交付を受け、認定証を病院窓口提出すると、窓口の支払いが自己負担限度額までになります。70歳以上で住民税が課税されている方は、手続きしなくても窓口の支払いが自己負担限度額までになります。

治療後に手続きをする（自己負担限度額を超えた分が払い戻される）

窓口での支払いが終わった後、ご加入の医療保険に支給申請を行うことで、後日、自己負担限度額を超えた額が払い戻されます。過去2年の支払いまで遡って申請できます。なお、申請時に、医療機関・薬局の領収書が必要な場合がありますので、大切に保管してください。

この他に、医療保険と介護保険の自己負担を合計して自己負担額を軽減する「高額医療・高額介護合算療養費制度」など、さまざまな経済的負担を軽減する制度があります。

高額療養費制度の内容や利用方法の詳細、その他の制度については、ご加入の医療保険（健康保険組合、市区町村の国民健康保険など）にお問い合わせください。

治療日誌

この治療日誌に日々の経過を記入して、受診時に医療スタッフに見せてください。

ベンダムスチンを初めて投与した日から、日付を記入してください。

ベンダムスチンを投与した日に○印を記入してください。

体温と体重を記入してください。
できるだけ毎日、同じ時刻に測定することが望ましいです。

食事の量を記入してください。

全部食べられた・・・・・・・・・・◎
半分以上食べられた・・・・・・・・・・○
半分以下しか食べられなかった・・・・・・・・△
まったく食べられなかった・・・・・・・・×

あてはまる症状がありましたら、○印を記入してください。
嘔吐や下痢の項目には、回数も記入してください。

気になること、医療スタッフに伝えたいことなど、
自由に記入してください。

サイクル 週		1 サイクル				1 週目		
月/日		4/5	4/6	4/7	4/8	4/9	4/10	4/11
ベンダムスチンの投与日			○	○				
他の治療薬 の投与日	リツキシマブ	○						
	ボラツズマブベドチン		○					
体温(℃)		36.8	37.1	36.3	36.4	36.9	36.7	36.4
体重(kg)		52.4	52.6	53.0	52.5	52.5	52.4	52.3
食事の量		△	○	○	△	△	△	△
感染症の症状	発熱(38℃以上)		○					
	のどの痛み							
	寒気							
胃腸症状	吐き気・嘔吐	○						
	下痢・便秘						○	
皮膚症状	皮膚の赤み・かゆみ							
	注射部位の異常 (赤み・腫れ・痛み)							
その他	けん怠感・疲労感							
	めまい・ふらつき							
メモ		・ 4/7 あまり食欲がない ・ 4/11 すこし手がしびれた感じがする						

医療スタッフの記入欄	好中球数 (/μL)	2,100	3,000
	ヘモグロビン (g/dL)	10.5	12.2
	血小板数 (10 ⁴ /μL)	18.1	20.3

サイクル 週		サイクル 週目						サイクル 週目						サイクル 週目					
月/日		/	/	/	/	/	/	/	/		/	/	/	/	/	/	/	/	/
ベンダムスチンの投与日																			
他の治療薬の投与日																			
体温(℃)																			
体重(kg)																			
食事の量																			
感染症の症状	発熱(38℃以上)																		
	のどの痛み																		
	寒気																		
胃腸症状	吐き気・嘔吐																		
	下痢・便秘																		
皮膚症状	皮膚の赤み・かゆみ																		
	注射部位の異常(赤み・腫れ・痛み)																		
その他	けん怠感・疲労感																		
	めまい・ふらつき																		
メモ																			

医療スタッフの記入欄	好中球数(/μL)						
	ヘモグロビン(g/dL)						
	血小板数(10 ⁴ /μL)						

サイクル 週		サイクル 週目						サイクル 週目						サイクル 週目					
月/日		/	/	/	/	/	/	/	/		/	/	/	/	/	/	/	/	/
ベンダムスチンの投与日																			
他の治療薬の投与日																			
体温(℃)																			
体重(kg)																			
食事の量																			
感染症の症状	発熱(38℃以上)																		
	のどの痛み																		
	寒気																		
胃腸症状	吐き気・嘔吐																		
	下痢・便秘																		
皮膚症状	皮膚の赤み・かゆみ																		
	注射部位の異常(赤み・腫れ・痛み)																		
その他	けん怠感・疲労感																		
	めまい・ふらつき																		
メモ																			

医療スタッフの記入欄	好中球数(/μL)						
	ヘモグロビン(g/dL)						
	血小板数(10 ⁴ /μL)						

サイクル 週		サイクル 週目						サイクル 週目						サイクル 週目					
月/日		/	/	/	/	/	/	/	/		/	/	/	/	/	/	/	/	/
ベンダムスチンの投与日																			
他の治療薬の投与日																			
体温(℃)																			
体重(kg)																			
食事の量																			
感染症の症状	発熱(38℃以上)																		
	のどの痛み																		
	寒気																		
胃腸症状	吐き気・嘔吐																		
	下痢・便秘																		
皮膚症状	皮膚の赤み・かゆみ																		
	注射部位の異常(赤み・腫れ・痛み)																		
その他	けん怠感・疲労感																		
	めまい・ふらつき																		
メモ																			

医療スタッフの記入欄	好中球数(/μL)						
	ヘモグロビン(g/dL)						
	血小板数(10 ⁴ /μL)						

サイクル 週		サイクル 週目						サイクル 週目						サイクル 週目							
月/日		/	/	/	/	/	/	/	/		/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
ベンダムスチンの投与日																					
他の治療薬の投与日																					
体温(℃)																					
体重(kg)																					
食事の量																					
感染症の症状	発熱(38℃以上)																				
	のどの痛み																				
	寒気																				
胃腸症状	吐き気・嘔吐																				
	下痢・便秘																				
皮膚症状	皮膚の赤み・かゆみ																				
	注射部位の異常 (赤み・腫れ・痛み)																				
その他	けん怠感・疲労感																				
	めまい・ふらつき																				
メモ																					

医療スタッフの記入欄	好中球数(/μL)						
	ヘモグロビン(g/dL)						
	血小板数(10 ⁴ /μL)						

サイクル 週		サイクル 週目						サイクル 週目						サイクル 週目					
月/日		/	/	/	/	/	/	/	/		/	/	/	/	/	/	/	/	/
ベンダムスチンの投与日																			
他の治療薬の投与日																			
体温(℃)																			
体重(kg)																			
食事の量																			
感染症の症状	発熱(38℃以上)																		
	のどの痛み																		
	寒気																		
胃腸症状	吐き気・嘔吐																		
	下痢・便秘																		
皮膚症状	皮膚の赤み・かゆみ																		
	注射部位の異常(赤み・腫れ・痛み)																		
その他	けん怠感・疲労感																		
	めまい・ふらつき																		
メモ																			

医療スタッフの記入欄	好中球数(/μL)						
	ヘモグロビン(g/dL)						
	血小板数(10 ⁴ /μL)						

サイクル 週		サイクル 週目						サイクル 週目						サイクル 週目					
月/日		/	/	/	/	/	/	/	/		/	/	/	/	/	/	/	/	/
ベンダムスチンの投与日																			
他の治療薬の投与日																			
体温(℃)																			
体重(kg)																			
食事の量																			
感染症の症状	発熱(38℃以上)																		
	のどの痛み																		
	寒気																		
胃腸症状	吐き気・嘔吐																		
	下痢・便秘																		
皮膚症状	皮膚の赤み・かゆみ																		
	注射部位の異常(赤み・腫れ・痛み)																		
その他	けん怠感・疲労感																		
	めまい・ふらつき																		
メモ																			

医療スタッフの記入欄	好中球数(/μL)					
	ヘモグロビン(g/dL)					
	血小板数(10 ⁴ /μL)					

サイクル 週		サイクル 週目						サイクル 週目						サイクル 週目					
月/日		/	/	/	/	/	/	/	/		/	/	/	/	/	/	/	/	/
ベンダムスチンの投与日																			
他の治療薬 の投与日																			
体温(℃)																			
体重(kg)																			
食事の量																			
感染症の症状	発熱(38℃以上)																		
	のどの痛み																		
	寒気																		
胃腸症状	吐き気・嘔吐																		
	下痢・便秘																		
皮膚症状	皮膚の赤み・かゆみ																		
	注射部位の異常 (赤み・腫れ・痛み)																		
その他	けん怠感・疲労感																		
	めまい・ふらつき																		
メモ																			

医療スタッフの記入欄	好中球数(/μL)						
	ヘモグロビン(g/dL)						
	血小板数(10 ⁴ /μL)						

サイクル 週		サイクル 週目						サイクル 週目						サイクル 週目					
月/日		/	/	/	/	/	/	/	/		/	/	/	/	/	/	/	/	/
ベンダムスチンの投与日																			
他の治療薬の投与日																			
体温(℃)																			
体重(kg)																			
食事の量																			
感染症の症状	発熱(38℃以上)																		
	のどの痛み																		
	寒気																		
胃腸症状	吐き気・嘔吐																		
	下痢・便秘																		
皮膚症状	皮膚の赤み・かゆみ																		
	注射部位の異常(赤み・腫れ・痛み)																		
その他	けん怠感・疲労感																		
	めまい・ふらつき																		
メモ																			

医療スタッフの記入欄	好中球数(/μL)						
	ヘモグロビン(g/dL)						
	血小板数(10 ⁴ /μL)						

Memo

緊急の連絡先

病院・医院名

電話番号

担当医師名

科

お問い合わせ窓口

memo

発行：2023年
監修：大阪国際がんセンター 副院長 血液内科
石川 淳 先生
提供：東和薬品株式会社

本冊子の内容を許可なしに複製、複写(コピーなど)、転載することは法律で認められた場合を除き禁じられています。